

アコモード

第15号
タイムズ



編集・発行

社会福祉法人 **アコモード**

- 特養ホーム
- デイサービスセンター
- ヘルパーステーション
- 訪問入浴介護事業所
- 在宅介護支援センター
(居宅介護支援事業所)

アコモード

千葉県君孫子市布佐 1559-2
TEL.04(7189)5201(代)・(7181)6666

「増床を終えて」

施設長 海老原 勤

例年になく暑い日が続いております。普段の自分であれば鬱陶しい思いにイライラしたはずですが、今年の夏はそうも言っていないかもしれません。

平成十四年から始まった増床事業が無事に年度末に完了し、四月より五十人の皆様を新たにお迎えいたしました。ここでそれが完了しやっと落ち着きを取り戻したところです。

私たちのアコモードは市のご好意により貸与していただいた土地を含め約二千坪の広大な敷地に、短期入所を含め定員百二十床の大型施設に生まれ変わりました。今、現場スタッフは各委員会、クラブ等の内容を再検討し、より一層の処遇の向上に繋がるよう議論を重ねております。

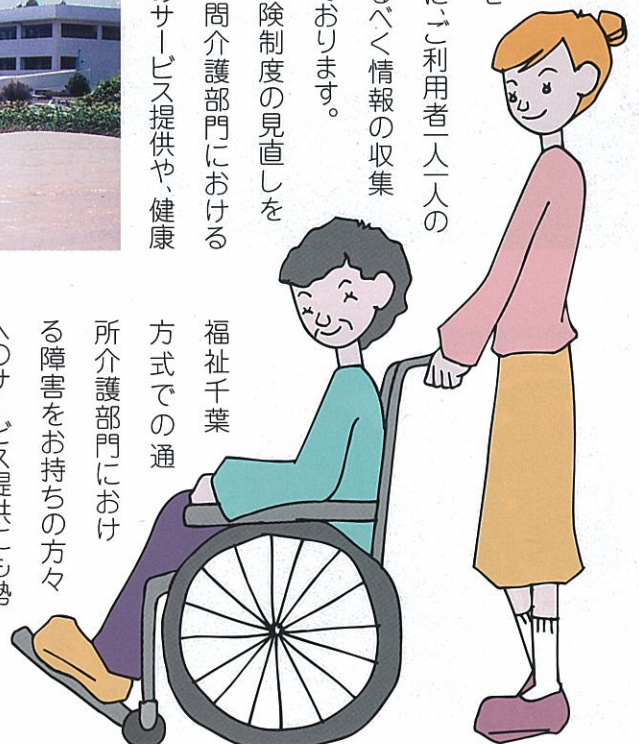
三月に行われた竣工式の席上でも述べさせていただきましたが、大規模施設であることが決してデメリットにならぬよう私を先頭に職員全員が一丸となり努力を重ねる所存です。

在宅介護部

在宅介護支援センターにおいても

センターを中心にご利用者一人一人のニーズに答えるべく情報の収集や提供に努めております。

また、介護保険制度の見直しを視野に入れ、訪問介護部門における支援費制度でのサービス提供や、健康



福祉千葉方式での通所介護部門における障害をお持ちの方々へのサービス提供にも勢力を注いでおります。

「小規模多機能施設」というフレーズを最近よく耳にしますが、アコモードは「大規模多機能施設」になろうともがいているところです。高齢者の皆様や障害をお持ちの方々一人一人が主人公であるということスタッフ全員が肝に銘じ、背伸びせず一歩一歩前進すればきっと成就すると信じています。

皆様、これからもアコモードを是非とも温かく見守って下さい。

気持ちも新たに

新館開設特集



① 皆さんの生活、何がどのように変わったのでしょうか

◆食事について

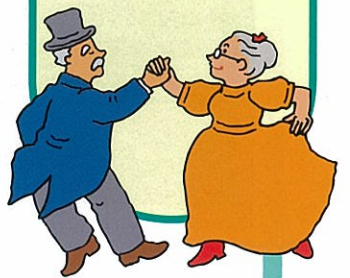
まず、今まで食堂まで行って食事をしていたが、各階の新館のロビーで食べるようになりました。食堂までの往復の時間が省け、皆さんにとってくつろぐ時間が増えたのではないのでしょうか。しかし、3階の端の居室の方には、食事のたび新館まで歩かれるのは遠すぎるようです。そして、2階3階の入居者が一緒に過ごす時間が減ったのは淋しい事です。

今回 温冷配膳車を購入し、適時適温に食事をお出しすることができるようになりました。この温冷配膳車はとても高価なものだそうですが、入居者の皆さんがご飯やスープを温かく、デザートなどは冷えている物を召しあがっている姿はとてもおもしろいです。



◆入浴について

アコモードの増床に伴い、入浴の場所、入浴の機器も変更しました。歩行可能な方が入浴する一般浴槽は2階フロア、特殊浴槽は3階フロアとなっております。一般浴槽は以前とほぼ変わりはないですが、大浴場の中に、一般家庭にある大きさ程の浴槽も御用意致しました。入居者の方にも好評で、多くの方が利用されています。そして特殊浴槽に関しては、以前



ます。

◆その他の活動について

新館が開設になり、今までの余暇活動と共に、屋上への散歩が出来るようになりました。天気の良い日は麦わら帽子、飲み物などを持ち、屋上からの田園風景や爽やかな風を感じる事が出来ます。面会にいらっしゃった御家族の皆様にも是非、足を運んで頂けたらと思います。

他にもたたくさんのボランティアさんの御協力を頂きながら、ハーモニカ、お化粧、ペン字習字、売店、歌などの活動も行っています。利用者の皆さんも毎回楽しみに活動に参加されています。



② 皆さんの感想

アコモードをご利用の方々に、新たに増設されたことについて、インタビューを行いました。

- 大変ご立派で、遊ぶ所が増えて良かった。
- 足の不自由な方は、運動歩き散歩でき、リハビリになるのができるようになった。
- 新しく入居された方々とも会話でき、お友達が増えた。
- イベント（音楽教室、書道教室など）が広いスペースで行えるので、解放感があり大変幸せ。
- 増設されたことで、職員さんも2階、3階にそれぞれ担当が分かれてしまったので、あまり会えない職員さんもいて、それは淋しい。
- 屋上に出来るようになり、天気の良い日は気持ちも体も心地良く、快適。

このように大半の方々が大変嬉しく思い幸せを感じていらっしゃるようです。



③ 各フロアの概要について

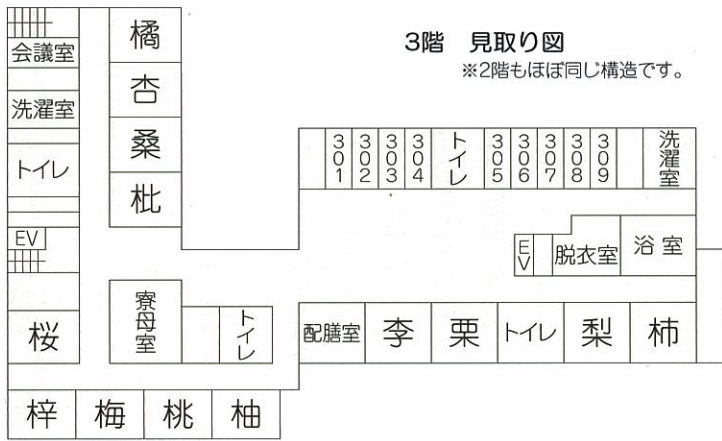
新館が開設し新しい設備が増えました。それらの概要についてご説明します。

新館と旧館の大きな違いは2階と3階は各階に配膳室とそれぞれ9室の個室があることです。

また、浴室は2階が一般浴、3階が特別浴の浴室となっています。全体の見取り図は左図の通りです。

1階の大幅な変更点は、今まで入居者の食堂だったスペースが新たにデイルームとなったことです。また増設

3階 見取り図 ※2階もほぼ同じ構造です。



部分の大半は駐車スペースとなっています。そして今までは兼用だった1階の浴室がデイサービス専用となりました。他には、事務所が正面玄関隣に移動し、前の事務所は、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所となりました。

④ ハンディナースコール 施設の増床に伴い、ナースコールも新しくなりました。利用者の皆さんがどこに居てもすぐに職員を呼べるよう、ベッドの枕元、各トイレに設置

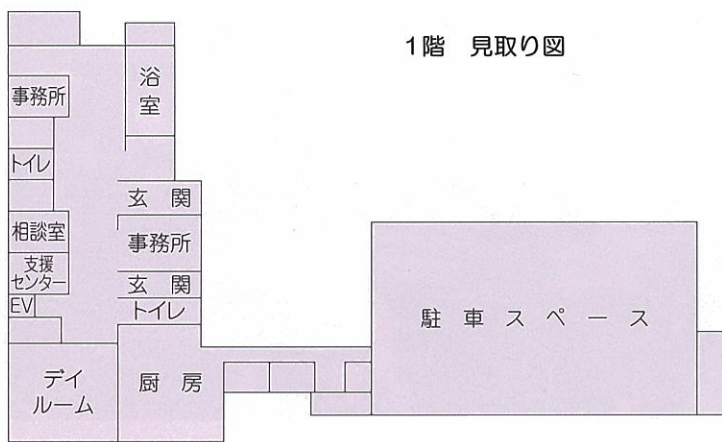
④ ハンディナースコール

⑤ 食事の食器が変わりました 温冷配膳車を購入する為に食器も変わりました。白地に赤や青、黄色のカラフルな柄になり、持ちやすいサイズになりました。テーブルも車椅子が楽に入り、肘つきのイスもたくさん増えました。

⑤ 食事の食器が変わりました

されたナースコールは、職員の手つP HSに繋がる仕組みになっています。これによって広い施設内でもいち早く利用者の皆さんの要望に対応することができ、職員間の連絡も密になります。利用者の皆さんが安心して快適な生活を送ることが出来るよう、一役かっています。

1階 見取り図



デイサービスルームが変わりました

増床工事に伴い、皆様には多大なご迷惑をお掛けしたと思えます。デイサービスルームは以前の食堂へ移動する事になりました。とても広いスペースをどの様に使用したら良いか考えました。

まずご利用の皆さんとその人数も曜日によって異なるので、毎日それに対応してテーブルの配置を変えるようにしています。

また、ゆつくりくつろげるスペースを広くとれる様に、ソファー、畳を置きました。今はもう少し畳のスペースを広くすることを検討しています。そして、

車椅子の利用者の方にもソファーなどに座ってもらう事によって、少しでもくつろいでいただけたらと考えています。

デイサービスルーム前には中庭があります。日光浴や、オープンカフェのようにお茶を楽しむ場所としています。

反面、利用者の方からは、「スペースが広くなったのはいいが、お手洗やお風呂場まで遠くなってしまう。」との声を聞きます。

日々、利用者の皆さんの事をよく考え、「また遊びにくるね。」と多く言ってもらえる様、頑張ります。



今後の予定

- 9月 梨狩り 敬老会
- 10月 運動会
- 12月 クリスマス会 餅つき



職員の移動

- | | |
|-----------|-------|
| 特養から訪問介護へ | 今井 絹子 |
| 特養主任 | 梅沢 大治 |
| 2階副主任 | 永井 豊和 |
| 2階副主任 | 宮本真理子 |
| 2階副主任 | 太田 正芳 |
| 3階副主任 | 土屋 栄子 |

あとがき

4月に、特養の増床工事も無事終わり、もうすぐ半年が経とうとしています。新体制での一からのスタートという事で、まだ慌ただしい毎日が続いています。職員同力を合わせてこれからも頑張つて盛り上げていきたいと思えます。

(広報委員一同)

